

出来形管理基準及び規格値

【管布設工事】（路面復旧）

※管布設工事において、次表の工種に記載のない場合は、土木・構造物工事の工種を使用すること。

単位：mm

工種	測定項目	規格値				測定基準	測定箇所	摘要
		個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
		中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
アスファルト舗装工 (下層路盤工)	厚さ	－45	－45	－15	－15	●各車線40m毎に1ヶ所、40m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を水系により下がりで測定。 ●下がり測定に加えて各車線80m毎に1ヶ所、80m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² 以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m ² 以上10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れがある場合は、他の方法によることが出来る。	
アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚さ	－25	－30	－8	－10	●舗装種別（号工）毎に1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。1,000㎡未満については、舗装種別（号工）毎にコアを1個採取。		
アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚さ	－15	－20	－5	－7	●幅は、延長40m毎に1ヶ所の割とする。 ●厚さは、舗装種別（号工）毎に1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。1,000㎡未満については、舗装種別（号工）毎にコアを1個採取。		
アスファルト舗装工 (基層工)	厚さ	－9	－12	－3	－4			
アスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	－7	－9	－2	－3	●幅は、延長40m毎に1ヶ所の割とする。 ●厚さは、舗装種別（号工）毎に1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。1,000㎡未満については、舗装種別（号工）毎にコアを1個採取。		
	幅	－25	－25	－	－			
排水性舗装工 (下層路盤工)	厚さ	－45	－45	－15	－15	●各車線40m毎に1ヶ所、40m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を水系により下がりで測定。 ●下がり測定に加えて各車線80m毎に1ヶ所、80m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れがある場合は、他の方法によることが出来る。	
排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚さ	－25	－30	－8	－10	●舗装種別（号工）毎に1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。1,000㎡未満については、舗装種別（号工）毎にコアを1個採取。		
排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚さ	－15	－20	－5	－7	●幅は、延長40m毎に1ヶ所の割とする。 ●厚さは、舗装種別（号工）毎に1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。1,000㎡未満については、舗装種別（号工）毎にコアを1個採取。		
排水性舗装工 (基層工)	厚さ	－9	－12	－3	－4			
排水性舗装工 (表層工)	厚さ	－7	－9	－2	－3	●幅は、延長40m毎に1ヶ所の割とする。 ●厚さは、舗装種別（号工）毎に1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。1,000㎡未満については、舗装種別（号工）毎にコアを1個採取。		
	幅	－25	－25	－	－			
透水性舗装工 (路盤工)	厚さ (t<15cm)	－30		－10	－	●片側延長40m毎に1ヶ所、40m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を水系により下がりで測定。 ●下がり測定に加えて片側延長80m毎に1ヶ所、80m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を掘り起こして測定。 ※歩道舗装に適用とする。		
	厚さ (t≥15cm)	－45		－15	－			
透水性舗装工 (表層工)	厚さ	－9		－3	－	●幅は、片側延長40m毎に1ヶ所の割とする。 ●厚さは、片側延長200m毎に1個の割でコアを採取して測定。 ※歩道舗装に適用する。		
	幅	－25		－	－			
コンクリート舗装工 (下層路盤工)	厚さ	－45		－15	－	●各車線40m毎に1ヶ所、40m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を水系により下がりで測定。 ●下がり測定に加えて各車線80m毎に1ヶ所、80m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、1層あたりの施工面積が2,000m ² 以上とする。 小規模工事とは、施工面積が2,000m ² 未満。	
コンクリート舗装工 (上層路盤工)	厚さ	－25	－30	－8	－			
コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚さ	－10		－3.5	－	●幅は、延長40m毎に1ヶ所の割とする。 ●厚さは、各車線40m毎に1ヶ所、40m未満10m以上の場合は1施工箇所につき2ヶ所、10m未満の場合は1施工箇所につき1ヶ所を水系により下がりで測定。		
	幅	－25		－				
	目地段差	±2						
区画線工	厚さ (溶融式のみ)			設計値以上		●施工日、色毎に1ヶ所テストピースにより測定。		
	幅			設計値以上		●各線種毎（実線、破線、ゼブラ、矢印・記号・文字）に測定。		